

心をあたたくすることば・心を傷つけることば

2月の児童朝会で子どもたちに話しました。人間は犬や猫などの動物と異なり、言葉を自由に使って自分の考えや気持ちを伝えることができます。それだけに相手の心をあたたくしたり傷つけたりします。

イメージ的には心を傷つける言葉の方がすぐ頭に浮かぶはずですが、子どもたちの会話をそばで聞いていると仲がよいとは言っても、こんな言葉を相手に言ったら傷つくのではと思うことが聞かれます。「バカ」とか「アホ」はたまた、喧嘩になったときは「死ね」という言葉が聞かれます。こんな言葉を言われた相手はどんな気持ちになるでしょう。傷つけることばはまるで「するどい刀」のようです。

心をあたたくする言葉とはどんなことばでしょうか。中々思い浮かべません。日本人か好きな言葉は「ありがとう」という言葉だそうです。私の家でも女房から「何かしてもらったら、当たり前のことでも“ありがとう”といたらどうなの。」ということをよく言われています。お茶をいれてくれたら「ありがとう」新聞をとってくれたら「ありがとう」等々、めんどくさいとはおもいながら今まで言ってなかったことを反省しています。

しょうじ たけしさんの書いた短い詩があります。

「ありがとう」しょうじ たけし
 ありがとう ありがとう いえば とっても いい きもち
 いわれりゃ もっと いい気持ち ありがとう ありがとう

今の子どもたちの心は「健康」か・・・

ある調査の報告によると、日本の中高生の不安定さやストレスなどは、1980年代に比べると2000年代に入っている方が減少していると言われていています。家庭や学校による高圧的な子育てや教育は少なくなり、受験競争の過熱化も、一部の高学歴を求める家庭や子ども以外では、緩和されているようです。しかし、今の子どもたちの心は健康だと言えるのでしょうか。子どもたちはどんどん幸せになっていると言えるのでしょうか。

世界の国の幸福度を比較したいくつかの調査があります。日本の国民の感じる幸福度は決して高くなく、だいたい中位か下位くらいです。上位にくる国は、北欧、中南米の国です。

国際的に見ると、日本は経済的には豊かな国であり、長寿の国、医療の整った国、犯罪の少ない国です。福祉の充実した北欧の国が上位に位置するのは納得がいきますが、中南米の国が上位に位置するのはどうしてでしょうか。決して経済的には豊かではなく、医療の充実も十分とは言えないし、貧困率、犯罪率も高い国が多くあります。考えられるのは、中南米の国は、生活の中でネガティブな要素も多いが、ポジティブな要素も多いことです。彼らには歌があり、踊りがあります。そして、スポーツを楽しみ、熱狂する生活があります。涙もあるが、喜びもある毎日を送っているのかもしれない。

それと比べて日本はどうでしょうか。個人差や地域差はありますが、「涙もないが、喜びもない」という生活が大半にはなっていないのでしょうか。学校はどうでしょうか。実際に以前の学校と比べ、今の学校は「不満もないが喜びもない」とであると認識している生徒が増加しているという報告もあります。

学校や家庭は、不幸にならないためにどうするかについては教えているけれども、幸せになるにはどうすればよいかについてはあまり触れられていないのではないのでしょうか。例えば受験とか成績と離れて、芸術、スポーツ、科学や文学を楽しむことの大切さやその方法について子どもたちに伝えているのでしょうか。

「健康」というのは、身体的、精神的、社会的に満ち足りている状態のことであり、単に病気がないということの意味しているわけではありません。身体的な側面ではなく、精神面の健康も含んだ「子どもの心の健康」のあり方について私たち大人は考えなくてはならないと思います。

新旧児童役員の交代式

2月4日（火）の児童朝会で新旧児童会役員の交代式がありました。これまで沖代小学校を支えてくれた児童会の会長山平昌太郎さんをはじめとする旧役員のみなさん大変お疲れ様でした。また新児童会長の中森音羽さんをはじめとする新児童会の役員のみなさん沖代小学校の「楽しい学校・やりぬく子ども」の目標の具現化をめざし力を合わせ頑張ってください。

2月の生活目標

『自分の仕事に責任を持とう！』



学校には、給食当番や掃除、係、委員会などたくさんの仕事があります。大変な時もあります。でも、周りの人の「ありがとう」という言葉や励ましの言葉があるとがんばってやり遂げることができます。そして、自信につながります。今後も子どもたちに、感謝や励ましの言葉をかけていきます。

家庭でも、子どもたちの仕事があると思います。家族の一員として、自分にできることをみつけ、進んでやろうとしたり、働く喜びや大変さを感じ取り、働くことの大切さを考えたりする良い場だと思えます。ご家庭でも、声かけをお願いします。

インフルエンザやノロウィルスの予防を！

インフルエンザやノロウィルスにかからないためには、手洗いうがいやマスク着用はもちろんですが、下記の3つのことに留意しましょう。

- ① 睡眠時間を十分にとろう（9時間～10時間）
- ② 朝ご飯をきちんと食べよう。
（塩気のある温かいものをいただいて体を温めましょう。）
- ③ 糖分を摂りすぎない（特にジュースや甘い物を飲み過ぎない。食べ過ぎない）



※平成25年度給食月間記念講演会資料より

子どもたちの安全のために

○登下校の安全

- ① 登校時刻が守れているでしょうか。
朝食をしっかり食べ、時間にもゆとりを持って登校させてください。
- ② 決められた通学路を登下校できているでしょうか。
- ③ 歩道から車道へ飛び出ることなく、安全に気をつけて歩いているでしょうか。
- ④ 下校後、友だちの家に行く場合、一度自宅に帰れているでしょうか。
行き場所を家族にきちんと伝えているでしょうか。
※5時には家に帰るようにしましょう。
- ⑤ 信号の合図をきちんと見て、左右の安全を確認して横断しているでしょうか。
- ⑥ 横断歩道をきちんと渡っているでしょうか。



ご家庭でも、毎日の声かけをお願いします。

